



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月28日

上場会社名 未来工業株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 7931 URL <https://www.mirai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山田 雅裕
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 中島 靖 TEL 0584-68-1200
 四半期報告書提出予定日 2020年8月3日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年3月21日～2020年6月20日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	8,794	△5.6	753	△10.0	738	△18.9	415	△28.4
2020年3月期第1四半期	9,319	8.5	836	11.5	910	9.8	580	19.8

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 597百万円 (18.6%) 2020年3月期第1四半期 503百万円 (△6.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	24.20	—
2020年3月期第1四半期	28.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	56,281	43,414	76.5
2020年3月期	56,615	43,173	75.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 43,050百万円 2020年3月期 42,826百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2021年3月期	—				
2021年3月期 (予想)		20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年3月21日～2021年3月20日）

2021年3月期の業績の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大により当社グループ業績への影響が不確定であり、現時点で業績予想の合理的な算定が困難であるため、未定としております。

今後の動向を見極めながら、合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	25,607,086株	2020年3月期	25,607,086株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	8,435,983株	2020年3月期	8,438,288株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	17,169,719株	2020年3月期1Q	20,165,349株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により移動制限や休業要請等、経済活動が大幅に制限され景気は急速に悪化し、消費や生産、企業収益は極めて厳しい状況で推移いたしました。

当社グループの事業関連である住宅建築業界では、政府による住宅取得支援策や低水準の住宅ローン金利等が継続しているものの、新設住宅着工戸数は持家が大きく減少し、前年度末までの減少傾向の色合いがさらに深まる状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社は、社内外での新型コロナウイルスの感染予防と拡大防止に努め、関係者皆さまの健康・安全の確保を優先する行動を心がけてまいりました。対面による営業活動の自粛等の実施を行ったものの、テレワークやサテライトオフィスの早期導入により受注活動に大きな影響はなく全事業所において製品の生産・供給も含め、通常と変わらず運営しております。当第1四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による建設現場の工事中断や遅延等の影響や新設住宅着工数の減少の影響等により、売上高は8,794百万円と前年同四半期に比べ525百万円(5.6%)の減収となりました。利益につきましては、原材料単価の下落等があったものの減収の影響等により、営業利益は753百万円と前年同四半期に比べ83百万円(10.0%)の減益、経常利益は738百万円と前年同四半期に比べ172百万円(18.9%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は415百万円と前年同四半期に比べ165百万円(28.4%)の減益となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

(電材及び管材)

電材及び管材につきましては、建築工事現場において技能労働者の不足が叫ばれるなか、作業の省力化を目指した製品づくりとともに、さまざまな現場に適した多種多様な製品展開を進めることにより、業界の支持を得ております。電材及び管材事業を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症の拡大による建設現場の工事中断や遅延等が発生したことや、新設住宅着工数の減少の影響を受けました。

電材では、地中埋設管「ミラレックスF」と施工性に優れた附属品が増加したものの、硬質ビニル電線管「J管」や合成樹脂製可とう電線管「ミラフレキSS」等の電線管類及び附属品が減少しました。管材では、「ミラボックス」等の給水給湯用の樹脂管とその継手が減少しました。その結果、売上高が6,484百万円と前年同四半期に比べ452百万円(6.5%)の減収となりました。営業利益は原材料単価の下落等があったものの減収の影響等により、539百万円と前年同四半期に比べ116百万円(17.8%)の減益となりました。

(配線器具)

配線器具につきましては、電材ルートへの活発な営業活動をしたものの新設住宅着工数が減少したこと等により「J・WIDE」等の配線器具が減少、意匠性の高い配線器具「NK SERIES」が微減したこと等により、売上高が1,407百万円と前年同四半期に比べ57百万円(3.9%)の減収となりました。営業利益は原材料単価の下落に加え高付加価値製品の売上比率増加等により128百万円と前年同四半期に比べ9百万円(8.4%)の増益となりました。

(省力化機械及び樹脂成形用金型)

省力化機械及び樹脂成形用金型につきましては、自動車関連向けの樹脂成形用機械が減少した結果、売上高が443百万円と前年同四半期に比べ97百万円(18.0%)の減収となりました。営業利益は163百万円と原価率が高かった前年同四半期に比べ19百万円(13.6%)の増益となりました。

(その他)

その他につきましては、「データセンター」が堅調に推移した結果、売上高が459百万円と前年同四半期に比べ82百万円(21.8%)の増収となりました。営業利益は94百万円と前年同四半期に比べ25百万円(36.2%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて333百万円減少し、56,281百万円となりました。その主な要因は、減収により受取手形及び売掛金が705百万円減少、たな卸資産が258百万円増加、投資有価証券が189百万円増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて574百万円減少し、12,867百万円となりました。その主な要因は、法人税等の納付により未払法人税等が611百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて240百万円増加し、43,414百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が101百万円増加、その他有価証券評価差額金が160百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大により、現時点で業績予想の合理的な算定が困難であるため、未定としております。今後の動向を見極めながら、合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,625	16,829
受取手形及び売掛金	11,032	10,326
商品及び製品	3,825	3,974
原材料及び貯蔵品	1,131	1,240
その他	940	879
貸倒引当金	△18	△18
流動資産合計	33,536	33,232
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,863	5,750
機械装置及び運搬具(純額)	2,899	2,913
土地	5,395	5,330
建設仮勘定	767	890
その他(純額)	537	604
有形固定資産合計	15,463	15,488
無形固定資産	418	382
投資その他の資産		
投資有価証券	896	1,085
繰延税金資産	1,599	1,472
退職給付に係る資産	170	192
長期預金	4,000	4,000
その他	703	606
貸倒引当金	△172	△177
投資その他の資産合計	7,197	7,178
固定資産合計	23,079	23,049
資産合計	56,615	56,281
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,553	6,352
短期借入金	71	303
1年内返済予定の長期借入金	276	450
未払法人税等	801	189
賞与引当金	—	572
その他	3,402	2,519
流動負債合計	11,105	10,388
固定負債		
長期借入金	297	354
再評価に係る繰延税金負債	105	85
退職給付に係る負債	657	665
株式付与引当金	841	869
役員退職慰労引当金	98	101
その他	336	401
固定負債合計	2,335	2,479
負債合計	13,441	12,867

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,067	7,067
資本剰余金	9,538	9,538
利益剰余金	42,924	43,025
自己株式	△15,951	△15,948
株主資本合計	43,578	43,683
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5	165
土地再評価差額金	△497	△543
退職給付に係る調整累計額	△260	△255
その他の包括利益累計額合計	△752	△633
非支配株主持分	346	364
純資産合計	43,173	43,414
負債純資産合計	56,615	56,281

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年6月20日)
売上高	9,319	8,794
売上原価	5,847	5,446
売上総利益	3,472	3,348
販売費及び一般管理費		
運賃	579	566
貸倒引当金繰入額	△0	4
役員報酬	56	68
給料及び手当	666	650
賞与引当金繰入額	234	223
退職給付費用	34	36
株式付与引当金繰入額	15	15
役員退職慰労引当金繰入額	3	3
その他	1,046	1,025
販売費及び一般管理費合計	2,635	2,594
営業利益	836	753
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	3	2
保険事務手数料	1	1
投資有価証券売却益	70	—
作業くず売却益	3	1
補助金収入	—	10
その他	45	21
営業外収益合計	129	40
営業外費用		
支払利息	1	1
売上割引	48	45
その他	5	8
営業外費用合計	55	55
経常利益	910	738
特別損失		
減損損失	—	76
特別損失合計	—	76
税金等調整前四半期純利益	910	661
法人税、住民税及び事業税	143	151
法人税等調整額	177	77
法人税等合計	320	228
四半期純利益	590	432
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	17
親会社株主に帰属する四半期純利益	580	415

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年6月20日)
四半期純利益	590	432
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△80	160
退職給付に係る調整額	△5	4
その他の包括利益合計	△86	164
四半期包括利益	503	597
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	494	580
非支配株主に係る四半期包括利益	9	17

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年3月21日 至2019年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	電材及び 管材	配線器具	省力化機械 及び樹脂成 形用金型	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,937	1,464	541	8,942	376	9,319
セグメント間の内部 売上高又は振替高	58	1	142	201	844	1,046
計	6,995	1,465	683	9,144	1,221	10,366
セグメント利益	656	118	144	918	69	987

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電気通信事業、ケーブルテレビ事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	918
「その他」の区分の利益	69
セグメント間取引消去	3
全社費用(注)	△146
棚卸資産の調整額	△0
有形固定資産の調整額	△8
無形固定資産の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	836

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2020年3月21日 至2020年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	電材及び 管材	配線器具	省力化機械 及び樹脂成 形用金型	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,484	1,407	443	8,335	459	8,794
セグメント間の内部 売上高又は振替高	47	1	234	283	782	1,065
計	6,532	1,408	678	8,618	1,241	9,860
セグメント利益	539	128	163	831	94	925

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電気通信事業、ケーブルテレビ事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	831
「その他」の区分の利益	94
セグメント間取引消去	2
全社費用(注)	△159
棚卸資産の調整額	△1
有形固定資産の調整額	△14
無形固定資産の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	753

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。